



関西から
文化力
POWER OF
CULTURE

感動+景
中部

わらび座 WARABIZA

劇団創立60周年
記念作品

カ ン ア ニ 伝

歌舞劇
ロマン

観
阿
弥

血と祈りの花

演出 中村 哮夫
作・作詞 高橋 知伽江
美術・衣裳 朝倉 優
音楽 飯島 優

後援/社平城遷都1300年記念事業協会

関西広域機構

中部広域観光推進協議会

平成23年 1月29日(土) 15:00開演(14:30開場)

茨木市市民会館 ユーアイホール・大ホール

茨木市駅前四丁目7番50号/JR茨木駅から東へ、阪急茨木市駅から西へ徒歩10分

【全席指定】(1階席のみの販売) 一般 3,500円

65歳以上、障害者及びその介助者 3,000円/青少年(24歳以下) 1,000円

◎茨木市観光協会、茨木市勤労者互助会、OSAKAメセナカード各会員は10%引き

*この取扱いは文化振興財団のみ *就学前のお子様のお入場はご遠慮ください

10月9日(土) 9:00電話予約開始

*残席がある場合は翌日から窓口販売いたします。

◆チケットのお申込み・お問い合わせ

(財)茨木市文化振興財団・事業係 072-625-3055 (ユーアイホール1階 9:00~17:00)

*文化振興財団の発売初日は電話予約のみです。

チケット引取り・窓口販売は翌日から下記のチケットカウンターで

ユーアイホール9:00~20:00(土・日・祝は17:00まで)/クリエイティブセンター 9:00~17:00

◆その他の販売所(初日店頭販売有り)

ローソンチケット0570-084-005 (Lコード56304) 電子チケットびあ0570-02-9999 (Pコード406-922)

(財)茨木市文化振興財団第122回公演

◆主催:(財)茨木市文化振興財団

◆後援:茨木商工会議所/茨木市観光協会

劇団創立60周年記念作品

歌舞劇ロマン

観阿弥 カンアミ伝

血と祈りの花

あらすじ

南北朝の動乱が、いまだ続くころの大和。観阿弥は、献身的な妻喜蔀に支えられ、「人の心を打つ芸」をしたいと研鑽を積んでいた。そんな時、観阿弥は人買いから孤児の少女「ナズナ」を助け、家族として迎え入れる。数年後、新たな芸を取り入れようとする観阿弥は、大陸から帰ってきた妖艶な舞踊手・乙鶴に斬新な曲舞を習ううち、しだいに魅了されていく。家族と一座に走る亀裂……。さまざま困難を乗り越えてきた観阿弥に大きなチャンスが訪れる。京都今熊野で、息子世阿弥とともに將軍足利義満の御前で舞うことが叶ったのだ。將軍の後ろ盾を得た観阿弥親子は、一気にのぼりつめ、隆盛の中で、「民衆の中にあつてこそ真の芸」と考える観阿弥と、「幽玄」の世界を求める世阿弥の対立が深まる。観阿弥は、「芸とは何か」を世阿弥に論じながら、「人買いから救った少女」を題材に、人々の本當の願いをこめた新たな作品を創り出す。都から遠く離れた駿河浅間神社で、その作品「自然居士」を舞う観阿弥、熱狂する民衆。父の想いは、京に残った世阿弥の心にもくつきりと刻まれ、二人の心は時空を超えて結ばれていた。

夢見る KAN-AMI

中村 喈夫 (演出)

わらび座の、真にわらび座らしい、わらび座でなければ出来ない、わらび座のみ出来る、というようなミュージカルを創りたいと思っています。

わらび座創立の原点である、日本の民族芸能のルーツにつながり、それと、ここ十年余り積み重ねてきた、ブロードウェイ・ミュージカルの手法との交流の成果を問われる舞台でもあります。

中世の日本には「田楽」という芸能が流行りました。これは文字通り、田の神様に捧げて豊作を祈ったのでしょう。その中には大変な人気スターも生まれたようです。それに対抗して現れ、競い合ったのが「猿楽」です。猿楽は日本の古代芸能の上に、韓半島、中国大陸、果てはシルク・ロードの方までつながる、外来の音楽、舞踏、そして雑技(手品やアクロバットなど、今日でも上海雑技団というのが有名ですね)などを取り入れ、その上で滑稽な物真似なども含んでいたらしい。その「田楽」と「猿楽」の要素を統合して、面白く演劇化して行った人が「観阿弥」です。後に息子の世阿弥によって幽玄な「能楽」となって行きますが、この観阿弥が活躍した頃はまだ上代の野性を残し、外来の息吹きを取り込み、新しい芸能を創ろうというエネルギーが大きく自由に羽ばたいていた時代でした。

その(野の人)である(KAN-AMI)の芸と恋と、人間と時代がぶつかり合い、響き合う、そんなミュージカルにしたい。そしてそこに、一種の祝祭的空間を現出させることが出来たらと夢見ております。

中村 喈夫

Nakamura takao

【演出】

1931年 東京生まれ。
1951年 慶応義塾大学文学部卒業。(折口信夫先生の最後の生徒)
1954年 東宝撮影所助監督となる。黒沢明監督に師事。
1962年 東宝演劇部へ移籍。菊田一夫氏に師事。
1965年 演出家としてデビュー。
以来、数多くの大劇場演出を続ける。特にミュージカル系統の作品が多い。
■主な作品
「王様と私」(日生劇場ほか) / 「ラ・マンチャの男」(帝劇ほか)
「その男ソルバ」(コマ劇場) / 「ファンタスティックス」(ジャンジャン他)
「アテルイ(わらび座) / 「銀河鉄道の夜」(わらび座)

わらび座とは

わらび座は民族伝統をベースに、多彩な表現で現代の心を描き、日本のオリジナルミュージカルを上演する劇団です。1951年2月創立。現在、7つの公演・グループで年間約1,200回の公演を全国で行っています。その他にも、民族舞踊・太鼓・演劇など、様々なワークショップも行っています。

また、劇団の本拠地・秋田県仙北市に、複合文化エリア「たざわこ芸術村」を展開。ホテルや温泉の他、中核となる「わらび劇場」では、09年度よりレパートリー・システムを導入。シーズンを通して、オリジナルミュージカルを複数上演します。

観阿弥とは

観阿弥 (1333年~1384年)

南北朝時代の猿楽師。演技者として、老若男女から鬼畜、草木の精まで演じつくす、強力な芸の力を持った人物。作品の特徴は、表現が自由で、対話が生き生きとした点である。そして、「現在能」といわれる、時間がストレートに進行して逆戻りしないという性質を持っていた。また、諸国の大衆を大事にする思想を持ち、観阿弥の理解者、支持者群は広範囲に広がっていた。観阿弥が組織した結崎座は、息子の世阿弥が引き継ぎ、父の教えに従って、さらに一座を発展させた。

「衆人愛敬を以て一座建立の寿福とせり」

意味…広い大衆に訴えかけ、大衆に理解される事が、一座の存続・繁栄となる。代表的な作品「自然居士」、「卒都婆小町」など。

◎スタッフ

演出 / 中村 喈夫
作・作詞 / 高橋知加江
音楽 / 飯島 優
振付 / 鎌田真由美
照明 / 橋野 明智
ヘアメイク / 我妻 淳子
音響 / 押久保 豊
小道具 / 平野 忍
舞台監督 / 仁 しづか
美術・衣装 / 朝倉 摂
翁・自然居士監修指導 / 観世鎮之丞

◎後援

(社)平城遷都1300年記念事業協会
関西広域機構 中部広域観光推進協議会

【美術・衣装】

朝倉 摂

Asakura setsu

東京下谷に、彫刻家、朝倉文夫の長女として生まれる。永年にわたる仕事の中で、「日本アカデミー賞」「テアトロ演劇賞」「芸術祭賞」など、数々の受賞を果たしている。

■主な作品

1988年 市川崑監督「つる」美術
※日本映画アカデミー優秀賞、朝日賞、東京都民文化事業賞受賞
マヌエル・プイグ作、ロバート・アラン・アッカーマン演出
「薔薇の花束の秘密」「蜘蛛女のキス」※「紀伊國屋演劇賞」
1994年 篠田正浩 映画「写楽」衣装デザイン
1995年 「エンジェルズ・イン・アメリカ」美術 ※読売演劇大賞・スタッフ賞受賞
1999年 篠田正浩 映画「鼻の城」衣装デザイン
2001年 日生劇場「源氏物語」、セントルイスオペラ公演

<劇団わらび座・主な受賞歴>

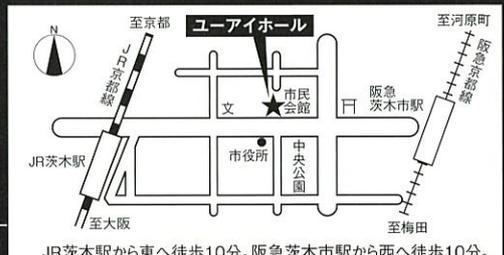
2001年 東京芸術劇場「ミュージカル月間」選定公演にて「菜の花の沖」が「優秀賞」受賞
2004年 東京芸術劇場「ミュージカル月間」選定公演にてミュージカル「アテルイ」タキナ役丸山有子が「小田島雄志賞」受賞
2005年 月刊ミュージカル「年間ベストテン2004」でミュージカル「アテルイ」ベスト10位
2008年 ミュージカル「火の鳥 鳳凰編」が文化庁芸術祭参加作品となる
2009年 月刊ミュージカル「年間ベストテン2008」でミュージカル「火の鳥 鳳凰編」ベスト15位

◆チケットのお申込み・お問合せ

(財)茨木市文化振興財団・事業係 072-625-3055 (茨木市市民会館1階 9:00~17:00)

- *財団の発売初日は電話予約のみです。お席はお選びいただけません。
 - *予約後は、1週間以内に市民会館またはクリエイティブセンターチケットカウンターでご精算ください。
 - *予約チケットの郵送をご希望の場合は、(チケット料金+郵送料400円)を郵便局備え付けの「払込取扱票」でお支払いください。手数料はご負担願います。払込確認後の発送となります。
- (振替口座) 00970-7-190576 / 加入者名: 財団法人茨木市文化振興財団

◆茨木市市民会館(ユアアイホール・ホール) 茨木市駅前四丁目7番50号 / 072-623-3962



JR茨木駅から東へ徒歩10分。阪急茨木市駅から西へ徒歩10分。